

第7章 リーディング・プログラム

今後の横芝光町は、基本構想の考え方に沿って、各分野別の施策を着実に進めていくこととなりますが、基本構想に掲げた理念と将来像の実現に向け、基本計画の施策・事業の効果を高め、より速やかに、わかりやすく成果を上げるため、総合的・横断的な視点から関連する施策・事業を「リーディング・プログラム」としてまとめました。

〈リーディング・プログラムの視点〉

町民一人ひとりが町に誇りと愛着を持って暮らし続けられるよう、豊富な自然・文化と人々のつながりを活かしながら、町の新たな魅力を創造し、町内外に発信することにより町の活性化を図ります。

なお、時代の流れを踏まえ、住民の目線を重視して、人々や情報のネットワークの充実による“地域力”の再生と行政との協働を共通の基調とします。



1 「人・まち育て」プログラム

目的

横芝光町のまちづくりの課題の一つとして、全人口が減少傾向にある中で少子高齢化が進んでいることがあげられ、特に子どもを産む年齢の人口が少ないことがその原因となっています。

本町の豊かな自然環境と穏やかな雰囲気、便利な広域道路網などの魅力を積極的に伝えながら、住民全体で暮らしやすいまちづくりを進める中で、特に“子どもを育てやすいまち”をめざすことで、若い年齢層の定住を促進します。

施策・事業

子どもを育てやすく、暮らしやすいまちをつくるため、安心して出産できる環境を整え、仕事と子育てを両立できるよう、地域ぐるみでの子育て支援の充実に努めます。また、学校教育の充実や家庭教育の支援を進めながら、就労や住宅など地域での暮らしに関わる情報を積極的に発信するとともに、誰もが安心安全に暮らせる地域づくりに努めます。



チャイルドケアセンターヒカリ

(1) 少子化対策の充実

- 乳幼児・児童医療費助成（子育て支援）
- 子育て支援センター機能の充実（子育て支援）
- 子育てボランティアのネットワーク化（子育て支援）
- 保健・医療・福祉の連携（保健・医療）

(2) 教育環境・内容の充実

- 家庭教育事業の推進（青少年育成）
- キャリア教育の推進（学校教育）
- 食育の推進（保健・医療）（学校教育）（農林水産業）
- ブックスタート事業の充実（子育て支援）

(3) 地域情報のネットワーク化と発信

- 地域の情報発信と交流拠点機能の充実（生涯学習）
- 就労情報の提供（産業活性化）
- ホームページの充実（住民参加）

(4) 地域の安全性向上

- 家庭・地域との連携による安全パトロール（学校教育）
- 自主防犯組織の育成（防犯・交通安全）
- 防犯に関する情報提供の充実（防犯・交通安全）
- 自主防災組織の育成（防災）
- 防災に関する情報提供の充実（防災）
- 交通安全施設の整備（道路・交通）



子育て支援センター

2

「水とふれあい循環」プログラム

目的

横芝光町の誇るべき魅力として、豊かな自然が住民に共通して認識されながら、一方で、特徴に欠ける町というイメージも持たれています。

全国的に合併の利点を実感されにくいと言われる中で、本町では、旧2町を隔てていた栗山川が新町の中央となったことを活かし、川を交流の拠点として、イメージ的にも物理的にも川を保全・活用することにより、町内はもとより町外の人々との交流も促進して、地域の活性化を図ります。

施策・事業

水の豊富な町のシンボルとして栗山川の保全・活用を図るため、川周辺の整備や水質浄化を進めるとともに、環境教育によって住民の関心を高め、住民参加による緑化・美化の充実を支援します。また、川に関する情報を積極的に発信しながら、川と共生するレジャー・レクリエーションやスポーツ・健康イベント、水産資源の活用などの川を活かした施策を進めます。



栗山川

(1) 川周辺の整備

- 栗山川における架橋と取り付け道路の整備（道路・交通）
- 「ふるさとの川整備」の促進（河川・海岸）

(2) 川の水質の浄化・保全

- 広域連携による栗山川の環境保全・浄化（環境衛生）
- 合併処理浄化槽の設置促進（上水道・下水処理）
- 農業集落排水施設の維持管理（上水道・下水処理）

(3) 環境保全活動の促進

- 環境教育の推進（環境・景観）
- 環境ボランティアの育成・拡大（河川・海岸）

(4) 水辺の付加価値の向上

- ウォータースポーツの普及促進（スポーツ）
- 水辺ウォークの環境整備（スポーツ）（観光）
- 栗山川のサケなどの川の資源の活用（観光）
- 観光資源のネットワーク化（観光）
- 栗山川情報の発信（河川・海岸）



栗山川サケの捕獲

3

「地域の力発見」プログラム

目的

横芝光町には、豊かな自然や温暖な気候のほか、町外でも有名な農産物、古い歴史・文化などの地域資源がありますが、それらが必ずしも互いに結びついてはいません。

価値観の変化や新町誕生により町の独自性や本質が改めて問われる中で、合併によって多様になった地域資源を見直し、町の価値を再発見して、誇りや愛着心を育むとともに、これを活用した産業や文化の創造を進めます。

施策・事業

豊富な地域資源の活用によって町の魅力を創出するため、住民一人ひとりの意識を向上し、美しい田園風景を保全するとともに、地元産品の販売促進や活用を積極的に進めます。また、地域の歴史・文化を振興しながら、地域情報のネットワーク化や発信とそれによる多様な交流などを促進します。



特産品



鬼来迎

(1) 良好な田園風景・緑地景観の保全

- 環境保全の意識啓発（環境・景観）
- 緑化運動の推進（環境・景観）
- 景観整備への意識啓発（環境・景観）
- 優良農地の確保・保全の促進（農林水産業）
- 農地・水・環境保全向上対策の推進（農林水産業）
- 協働による道路環境の美化（道路・交通）
- 道路里親ボランティアの育成（環境・景観）

(2) 地元産業の振興

- 地域振興施設の整備（商業・工業）（産業活性化）（観光）
- 横芝光ブランドの確立（農林水産業）
- 特産品の開発促進（農林水産業）（観光）
- 地産地消の推進（農林水産業）
- 食育の推進（保健・医療）（学校教育）（農林水産業）
- NPO やコミュニティビジネスなどの支援（コミュニティ）

(3) 地域の歴史・文化の活用

- ふるさと歴史訪問活動の充実（文化）
- 歴史・文化資産の発掘・活用（文化）
- 文化財情報の発信（文化）

(4) 情報の発信と交流の促進

- グリーン・ブルーツーリズムの振興（観光）
- 広報紙の充実（住民参加）
- ホームページの充実（住民参加）
- 観光情報の発信（観光）
- 町の魅力の発見・活用（観光）